

道母連だより

令和元年を迎えて

理事長 畑 和子

令和元年6月11日に開催された
した定時評議員会において理事・
監事が選任され、その後の理事会
にて理事長に推挙されました。

会員には今まで以上の協力を得
まして、5名の理事と道母連の組
織づくりに努力してまいります。

人口減少、少子化はとめどみな
く続き、今いる会員を減らさない
よう、休会が増えないよう、道母
連と地区母連が一体となって活
性に努めていきたいと考えます。



り親家庭が
多い中で
も、ひとり
親家庭高等
職業訓練資
金貸付事業

の申請は道内一円から上ってきて
います。また、母子家庭等就業・
自立支援センター事業でも、道央
圏域の胆振管内は就業に結びつ
いていますが、他の地区では実績を
出すのに苦慮しています。

母子家庭の母の就労の場として
の清掃事業は、母達が一生懸命頑
張っています。自主事業である新
千歳空港カフェテラス BOREN
は、より魅力的な店舗にするよう
努力しています。

院内保育所の事業運営や母子福
祉センターの利用促進を続けなが
ら地域の母子会とも向き合ってい
きます。今年度も、全道の高校生
に奨学金のご支援をいただきまし
た関係団体のみなさまには心から
お礼申し上げます。

第91号

発行日/令和元(2019)年9月1日
発行/社会福祉法人 北海道母子寡婦福祉連合会
〒060-0031
札幌市中央区北1条東8丁目 北海道母子福祉センター内
電話 (011) 261-0447
●題字は山高しげり先生 ●印刷 樹アイワート

全道単位会会長会議後の 交流会

とき 平成31年4月29日
ところ 札幌グランドホテル



道新振興基金上村事務局長と
奨学金を受給した子ども達



桧山地区母連
渋谷政子さん
の祝舞



恒例の北国の春



盛り上がる参加者



衆議院議員船橋利実先生と清掃部職員



岩本剛人先生(現参議院議員)

新理事として

甲谷 千春

帯広市つくし会会長になったばかりで道母連の理事を引き受け
るなど、責任が重すぎて悩みましたが、初めてで分からない
に勉強させていただく覚悟で引き受けました。何度か理事会に出
席し覚悟が甘かったと実感しています。会員減少など差し迫った
問題を抱えて私は何の役にも立ててはいませんが、他の理事の
方々からの教えは私にとって大変勉強になります。崖っぷちに立
たされた緊張感と一つ残らず自分のものにする気概だけは十分あ
ります。まず今年一年は、組織としての道母連を理解することか
ら始めたいと思いますので、よろしくご指導下さい。

全道単位会会長会議

とき 平成31年4月29日(祝)
ところ 北海道母子福祉センター

令和元年度活動目標 理事・評議員各部より

定刻の10時30分に開会し、42単
位会92名の出席報告があり、畑和
子理事長は挨拶の中で、前日の理
事・評議員・地区連会長会議にお
いて、平成30年度報告事項並びに
令和元年度事業計画案・予算案が
承認された旨の説明をされました。
ご来賓の北海道保健福祉部子ど
も未来推進局自立支援グループ佐
藤行広主幹からは、母子家庭等就
業・自立支援事業、ひとり親家庭
職業訓練促進資金貸付事業運営へ
の感謝の言葉があり、北海道のメー
ルマガジンやホームページを利用

全道単位会会長会議



畑和子理事長のあいさつ

令和元年度活動目標

理事 高橋ノリ子

年号が令和に決まり何となく新
しい年を迎えたようなそんな気分
でした。4月29日に全道単位会
長会議が開かれ、初めての試みで
奨学金を受けている方の生の声を
聞く事が出来ました。聞き乍ら部
活や自ら決めた方向に一生懸命に
向かって頑張っている様子が伝
わってきました。我が子や孫に重
ねて目頭が熱くなりました。出席
してくれた生徒さんに感謝です。
道母連も新しい年になりました
が課題は沢山あり、どれも持った
のさかない問題ばかりです。その
都度、理事長を先頭にみんなで考
え知恵を出し合い良い方向に向か
うよう進めていく所存です。今年
は各地区でブロック研修会が開か
れるよう準備を進めていると思っ
ます。テーマ「つながり人の輪、
守ろう地域の輪」です。少子高令
化の中で、となり近所、身近な所
からつながって色々な情報の共
有、交流も大事です。各地区の元
気の出る情報を期待しています。

各部の部長より

事業部 甲谷由美子

・就労対策と清掃事業の業務拡大
と共に人員確保に努める
・母子福祉センターの運営管理に
努めセンター活用を周知する
・新千歳空港カフェテラスほれん売
上向上を目指し一層の努力をする
・頒布事業は値上げ商品もあるが、
メリットのPRに努め各社商
品協力と販売促進を図る

研修部 半田るり子

初心に戻り、単位会の活動や地
区母連の役割について再度見直し
をし、魅力ある団体を目指し、若
年会員の加入促進を今年度の研修
部のテーマとする。

広報部 安達 史子

年2回発行の道母連だよりに新
しい企画、興味ある記事を掲載し
たいと希望しています。単位会、
地区母連等でチャレンジしてみま
せんか。居心地がよく、楽しい母
子会には、若いお母さんと子ども
達が集まります。元気いっぱい
投稿を期待しています。

令和元年度役員紹介

※は新任の方です。

理事・監事

理事長 畑 和子 (江別市)

理事 高橋ノリ子 (赤平市)

井川 友子 (乙部町)

田中 和子 (函館市)

藤本 恭子 (伊達市)

甲谷 千春 (帯広市)※

監事 松永 文美 (北広島市)

小笠原千伊子 (岩見沢市)

評議員

(研修部)

部長 半田るり子 (七飯町)

斎藤 睦 (平取町)

次藤ユウ子 (共和町)

中村 和子 (天塩町)

(事業部)

部長 甲谷由美子 (苫小牧市)

梅本 弥生 (八雲町)

湊 清美 (稚内市)

三田 真美 (佐呂間町)

末広 寿織 (釧路市)

(広報部)

部長 安達 史子 (当別町)

田中 京子 (砂川市)

外山 栄子 (旭川市)

青木枝美子 (音更町)

顧問 渡部 タミ (旭川市)

して情報発信への協力依頼がありました。行政説明では引き続き、佐藤行広主幹により、ひとり親家庭の現状と各種支援策が、資料に基づき詳細に説明されました。

午後の部は、歴史考証家岸本良信氏の講演で、「どさん子の苗字とルーツ」と題し、苗字や家紋について興味深く聴きました。

続いて研修討議では、「つながり人の輪、守ろう地域の輪」をテーマに意見交換が行われました。参加した子ども達から奨学金のお礼の発表や意見もあり、新規会員獲得や魅力ある母子会を目指して、参加の会員から活発な意見が述べられました。



道子ども未来推進局自立支援グループ 佐藤行広主幹のご祝辞



「母に幸あれ」を斉唱



講演の岸本良信先生



佐藤行広主幹による行政説明



議長の2人



積極的に質問・意見交換



子ども達からも発表・意見



道 央

社会福祉主事を目指し
母に恩返ししたい

岩見沢市 花田優賞香

私はいただいた奨学金で、華道の資格を取得しました。現在は、生活支援員として障がいを持った方と一緒に仕事をしています。2年目の今年は、次の目標として、神奈川県へ社会福祉主事の資格取得の為スクーリングに行きます。

母は母子会が運営する岩見沢市役所の売店で働いています。2年前には北海道善行賞をいただき、その大きな賞状が我が家の床の間に飾られています。今の私が大きな悩みもなく仕事ができるのは、母が毎日、おいしい食事を作り、強い愛情で育ててくれたからと感謝しています。母の日に、誕生石の『ガーネットのネックレス』と『腕時計』をプレゼントしました。



高校の卒業式を終え母の職場の市役所売店で



職場の夏祭りで利用者さんと

私がおう少し年齢を重ねたときに、母に聞いてみたいことがあります。「18年間一人で一生懸命私を育ててくれましたね。でも、ママはやりたいことはなかったの？」って。でもきつといつものように、「まだまだこれからも出ますから」って言うでしょうね。いつか、母が応援する日本ハムファイターズの大好きな栗山監督と写真を撮らせてあげたいと思っています。

私が母のために出来ることは、周りの人に迷惑をかけずに、身体に気を付けて今の職場で頑張つて働いていくことだと思います。お母さん、これからもよろしくね。貯金がたまったら、みんな旅行に行こうネ!!

道 東

感謝を忘れずに
次の夢に向かって

常呂町 曾根原風紗
(網走在住)

私は長野県で生まれ育ち、両親の離婚で母子家庭になったのは、七歳の時でした。母子家庭と言っても引き取ってくれたのは母ではなく、母方の祖母でした。祖母はなるべく私に不自由のない生活と必死に働いてくれました。しかし、いつしかそこの生活が成り立たなくなり、祖母の知り合いを頼つて北海道へ引越してきました。それから、その知り合いの方を通して母子会の存在を知り、援助を受けることになりました。

私が住むオホーツク圏内は交通



産まれて24時間お産を
抱っこして
お母さんと
お話を
する



動物が大好き。
牧場の馬と。

網が十分ではないため車は必需品であり、卒業と同時に免許を取ることが必須でした。いただいた奨学金は、自動車学校の入学金の一部として使わせていただきました。現在は網走で養豚の仕事をしています。そこは東証一部上場企業の職場で、その恩恵を受けて、とても良い待遇で働かせてもらっています。働きながら次の夢に向かって、貯金や勉強を進めていきたいです。私の「今」は、母子会という存在があったから、なにより、それを繋ぐ存在があった事で成りたっています。その事を忘れずに、周りへの感謝の心を大切にして働きたいと思っています。



今年成人式を迎えました

道北

お菓子販売の夢を叶え 笑顔のお手伝いを

旭川市 岩戸 月香^{つきか}



札幌に家族旅行。北海道知事公館庭園マリア像の前で叔母さんと弟と(右端)

私は、平成27年から高校の3年間、奨学金をいただいています。私の夢は幼いころから、お菓子を販売することでした。その為、高校は食品の勉強ができる学校を選びました。

そして、高校に入学後に奨学金をいただくことが出来、その時々で、参考書の購入や資格試験の検定料、修学旅行の費用、企業見学

の交通費などに使わせてもらい、とても感謝しています。自分の夢に少しでも近づぐことが出来た高校生活を送ることが出来ました。

現在は、高校を卒業し旭川市内に就職して、お菓子の販売員をしています。お菓子の

販売を通じて、みんなの笑顔のお手伝いをしていけたらと思っています。まだ社会人2年目で失敗することもありますが、これからも目標に向かって努力を続けていきます。

そのことが社会貢献になり、奨学金をご支援くださったかたへの恩返しになるのではと考えています。本当に有難うございました。

令和元年度も道新振興基金さん、北洋銀行さん、みどりところの基金さんから助成をいただき、338名に奨学金が給付されました。

夢と希望に 奨学金を生



道南

姉妹で医療従事者へ

せたな町 尾山樹莉亜^{りあ}
(札幌在住)



授業中は集中しています(左端)

四人で暮らし、今は姉と私二人暮らしで母子家庭という母の収入だけでは今の暮らしができない中입니다。ですが、奨学金のおかげで大学にも通えて、裕福ではないですが、食に困ることなく過ごせていることに感謝しています。

私は将来地元に残り、在宅医療を広めていきたいです。そのためにも、北海道医療大学でしっかりと看護を学び、患者が求めるケアを提供できる立派な医療従事者になり、母へ親孝行したいです。

高校生の折にいただいた奨学金に心から感謝し、社会に役立つ仕事で恩返しできればと思っています。

私の姉は、私と同じ北海道医療大学で薬剤師を目指すため、通っています。その時点でお金がかかるのはわかっていますが、それでも母は、私が看護師になりたいと口にしたら、迷わず、頑張って姉妹で医療系について!!と応援してくれました。私も大学に通うことでお金も更にかかり、負担が大きくなるのが承知の上、北海道医療大学に通わせてもらっています。そのため、私達姉妹は、奨学金を借り、夢へと少しずつ近づいています。私の家庭は、母と姉、私と弟の



北海道医療大学の友人達と(左端)

北海道善行賞を受賞して



上士幌町母子寡婦会

菅原 恵美

私には4人の子供がおり、母子家庭になった当時は、保育所、小学校、中学校、高校とそれぞれ通っていたため、忙しさのあまり学校行事を忘れてしまった事もあり、子供達には申し訳ない気持ちで一杯でした。

母子家庭になってすぐに友達のお母さんより母子会の入会を進められ会員になりました。高校生の

子供達には奨学金の支援を頂き本当に助かっております。

今は上の子2人が成人し、一番下の子が高校2年生になりました。私自身去年くらいから体調が思わしくなく辛い日もあります。後もう少しと自分に言い聞かせ、頑張っています。

今年北海道善行賞を受賞し、知事から直接表彰状を頂きました。知事から表彰されるとは夢にも思っていなかったのでも嬉しく、感激しました。受賞式に出席させて頂き、母子寡婦会の皆様に感謝申し上げます。



勤務先グループホームのお花見へ利用者さんと

北広島市母子寡婦ニレの会

堺 真理子

別居を始めた時、上の子は小学校1年生でしたが、私は働かなくてはいけないので、下の子はまだ2歳で急に幼稚園の最年少クラスに入ることになりました。それから離婚、引越、転校、転園と環境が目まぐるしく変わり、今考えると幼い二人にとっては不安な日々だったと思います。ただ、幸いにも実家の両親や弟家族が近くにいる、子どもの体調が悪い時などサポートしてくれたり、少しでも寂しい思いをしなくても済むようにと協力してくれましたので、本当に心強かったです。

5年前に今の職場に転職して、最初は工場勤務で重いものを持つたり、体力面での不安もあったのですが、昨年、事務を務めていた方が定年を迎えることになり、後任として事務職にいただきました。



支えてくれた両親、弟一家と実家で焼き肉。手前の二人が子ども達

した。パソコン教室にも通わせていただき、自分のスキルアップにもなり本当に有難いことです。

上の子は、今春大学生になりました。第一志望の大学に入学することが出来て家族みんなで喜びました。下の子も中学校で卓球部と生徒会の仕事を頑張っています。そんな二人の子どもの頑張りが私の励みです。この受賞を機に、これから感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思えます。

令和元年度共同募金助成金は4ブロック研修会、
広報誌発行に充当させていただきます。
ご報告し、お礼申し上げます。

令和元年 清掃作業従事者研修会

報告

清掃作業監督者 田口 綾子



熱心に研修する参加者

元号が令和になり、令和最初の清掃事業者研修会が、6月1日に37名が参加し、北海道母子福祉センターにて行われました。

今年3月にベテラン監督者が退職され、監督者が二人、指導者として一人加わり、3名で研修プログラムの作成に当たりました。通常の業務に加えての資料作り、役割分担など打ち合わせは慌ただしいものでした。ここ数年の研修会で定着してきた「ヒヤリ・ハット」報告では、他の従業者のインシデ

ント発表を聞くことにより注意力が強まります。会を重ねる毎に各自の意識が高くなり、事故・怪物の防止に役立つと感じた研修会でした。

グループディスカッションでは、毎年多くの質問や要望が出ます。今年は新人が6名も入りましたので、新人の疑問点の発言や中堅人の意見も多く、熱い議論になりました。我々ベテランにとって、基本作業の再確認の目になります。また、中堅人の意見は指導の手引きにもなります。監督者としてまだまだ未熟であり、毎回研修会では、指導することにより学ぶことが多く、私にとって有意義な時間です。

今回の研修会での反省すべき点は、指導者同士の意見の協調が出来ていなかったことです。折角、多くの質問や要望が出されたのに、適切な助言や提案が出来ませんでした。反省すべき点は、来年度の研修会で同じことを繰り返さないように、話し合いの場を増やし、指導者同士で協調していきたいと思います。

自動販売機が設置されました。

道母連本部に待望の自動販売機が道庁本庁舎1階に4月から設置されました。

平成30年度の知事と道議会要望に「自動販売機の設置に際しての配慮について」と要望しましたところ、道保健福祉部・総務部・議会の先生たちのご尽力で1台設置されました。

1階は「人の出入りも多く売上げは大きいよ」と言われています。これはひとり親家庭のために還元できるのではないかと役員一同関心を持っているところです。どうぞ道庁の近くを通りましたら道庁1階に写真のように目立つ自動販売機がありますので売上げにご協力お願いします。



この自動販売機の売上金の一部は、給付型奨学金の支給など北海道のひとり親家庭の子どもの支援に使われます。



実践しながら指導する田口監督者



研修プログラム作成・実践の監督者3人



グループに分かれ意見交換



グループ代表の発表



…… 宿泊・貸室 ぼねん ……

今年もきました
苗穂地区子ども樽みこし



中標津高校ラグビー部

ご利用いただきました
**若く、明るい声が
響きました**

道母連母子福祉振興基金に
ご芳志ありがとうございます

振興基金累計額(令和元.7.31現在)

一一一、五六七、四三七円

研修会のお知らせ

令和元年度 全国母子寡婦福祉研修大会

開催日 令和元年10月26日(土)～27日(日)

会場 川崎市スポーツ・文化総合センター

「カルッツかわさき」ホール(川崎市)

参加費 2,970円

第63回東北・北海道地区 母子寡婦福祉研修大会

開催日 令和元年9月7日(土)～8日(日)

会場 「ほへみの宿籠の湯」(山形県天童市)

参加費 2,000円

全国統一活動メインテーマ 「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」

おくやみ

ご逝去をいたみ、謹んでご冥福を
お祈りいたします。

元道母連理事 眞柳宏子さん

令和元年6月17日

永年にわたり道母連役員として、また室蘭
母子福祉会会長として活躍されました。

平成23年度からは母子家庭等就業・自立
支援センターの初代センター長として、胆振・
日高・石狩・空知・後志の広い道央圏域を駆
け巡っていました。今話題の子ども食堂も室
蘭でいち早く開始されました。

7月30日の理事・評議員会終了後に眞柳さ
んを偲ぶ会がありました。

元道母連理事・奈井江町母子会長
 本山淑子さん

令和元年6月9日



編集後記

今シーズンもワラビや路、ウド
などの山菜を楽しみました。毎年、
山奥に仲間5人と路採りに行きま
す。背丈ほどの路が見渡す限り群
生している筈が、腰の高さまでし
か伸びていません。雨不足に加え
低温続きが原因のようです。しか
し、自然の中で山菜や虫たちは、
次年度に向けて、しっかりと子孫
を残す努力を続けていました。

毎日のようにマスクミを賑わす
子どもへの虐待は、耳を疑うほど
の内容です。人間は唯一、理性・
知性を持った動物です。自分が食
べなくとも子どもにだけは食べさ
せる、母親の眠る姿を見たことが
ないなどは、もう古き昭和以前の
出来事なのでしょうか。

如何なる悪条件の中でも、次の
世代に繋ごうとする植物や動物に
恥じない、人間の底力や優しさを
発揮したいものです。

まずは我が母子会を、未来を担
う子ども達や頑張るお母さんに
とって、心休まる居場所、明日の
鋭気を養う居場所にしたいもの
です。

(安達史子)